

# Rainbow Times

Children's Rainbow Center Newsletter  
Vol.7 Spring 2006



## INDEX★TOPICS

平成18年度研修の特色をご紹介します。

「地域虐待対応等合同研修」は高松市、新潟市、名古屋市においても開催。

紀要・報告書のお知らせ

緊急連絡！！「研修の申込み方法」が変更になりました。

*One More Time...*は、宿泊ホテルの変更についてのお知らせです。

この **Rainbow Times** は研修参加者との交流のための新聞です。

研修参加者のみなさんからの積極的な投稿をお待ちしております。

# ☆ テーマ別研修は「発生予防」と「親への支援」 平成18年度研修計画を策定！

子どもの虹情報研修センターでは、平成18年度研修計画を策定、計22本の「虐待対応研修」を行います。詳細は、「平成18年度研修概要」を各機関・施設あてに3月末にお送りしましたのでご覧ください。また、ホームページ上にも逐次情報を掲載していきます。ここでは、平成18年度研修の主な特色を紹介します。

## 1 研修全体の考え方

児童虐待に適切に対応するため、「早期発見・早期対応の迅速・的確性の確保」「保護・支援・アフターケアの質的向上」「市町村における家庭児童相談の質的向上」「多分野横断的連携」「発生予防」「親への支援」などの観点から研修計画を策定しました。

## 2 個別研修（本年度実施のいくつかの研修をピックアップして紹介します）

### 地域虐待対応等合同研修

この研修は、児童相談所との連携を中心に、実行力のあるネットワークのあり方への理解を深めるため、昨年度まで「市町村虐待対応等職員セミナー」と「保健・福祉合同研修」として開催していた研修を再編したものです。都道府県や市町村で児童虐待防止に携わる職員を対象として、当センター（横浜市戸塚区）、高松市、新潟市、名古屋市で開催します。

### テーマ別研修 「発生予防」「親への支援」

平成18年度の研修テーマは、ハイリスク家庭などへの適切な援助のあり方の理解を深めるため、児童虐待の「発生予防」と「親への支援」とします。「発生予防」では「産後うつ病」に関して、「親への支援」では「現代の子育てをめぐる社会的背景」や「保護者の精神疾患の理解」の講義と、それぞれのテーマに沿った実践報告、事例検討を行います。

### 大学生・大学院生MDT（多分野横断）研修 <新規>

昨年度の公開講座において、ハワイ大学のR・マタヨシ先生から、「多分野の学生が一緒にセミナーを受けることにより、互いの専門性を理解するとともに、卒業後それぞれの機関に就職した後もスムーズな連携が行われている」ことを教えていただきましたが、それをこの研修で初めて試行的に実施することにしました。

医療・保健・福祉・教育・法律など様々な分野の大学生・大学院生が一堂に会し、児童虐待問題について基本的なことを学び、グループ討議などにより、理解を深めます。

### 公開講座 「今、子ども問題の解決には何が必要か」ほか

毎年11月は「児童虐待防止月間」ですが、当センターではこの月間の参加行事として公開講座を開催しています。今年度は11月17日（金）に、次の3つの講演を行います。なお、この公開講座は、治療施設専門研修の最終日に行われるものです。

- ・「今、子ども問題の解決には何が必要か 子ども学の発想」  
（小林登・子どもの虹情報研修センター長）
- ・「子どもの脳の発達」（榊原洋一・お茶の水女子大学発達心理教育研究センター教授）
- ・「子どもの成長を支える建てもの」（仙田満・株仙田デザイン研究所名誉所長）

詳細については、今後本誌 Vol. 8 以降でご案内します。

テーマ別研修でも取り上げていますが、平成18年度は「保護者への支援」を喫緊のテーマとし、他の研修でも、講義等を予定しています。対応の難しい保護者対応の一助となれば幸いです



# 紀要、報告書 活用ください！

先ごろ、子どもの虹情報研修センターの紀要と研究報告書を、各機関・施設にお届けしたところですが、みなさんにご覧いただきましたでしょうか

子どもの虹情報研修センター紀要<No3>には、「子どもが求めるもの」(村瀬嘉代子先生：大正大学人間学部)と「児童虐待防止法および児童福祉法の改正とこれからの課題」(吉田恒雄先生：駿河台大学法学部)の2本の論文を掲載しております。これらの論文は、この紀要のために書きいただいたものです。

また、平成16年度研修講演からは、特別公開講座「子どもの国際化の現状と課題」(李節子先生)をはじめ、性的虐待、子どもの発達を視野に入れた児童虐待の理解と対応、援助の連続性、職員のチームワーク等の講義記録を掲載しております。この他に、研究報告も一部掲載しております。

紀要とは別に、三つの研究、計4本の研究報告書を発刊いたしました。一つは、「児童虐待の援助法に関する文献研究 第2報：1980年代」です。この研究は、平成15年度から実施している虐待に関する文献研究で、平成16年度からは、心理社会的分析とは別に、法学分野からの報告が加わり、より多面的な分析を行っております。

もう一つは、「児童虐待に対する情緒障害児短期治療施設の有効活用に関する縦断研究」で、2000年から5年間にわたる報告をまとめています。情緒障害児短期治療施設をフィールドに実施している「臨床動作法の児童福祉施設入所児童への適用に関する研究」も完成しております。紀要、各報告書は、ホームページから閲覧することができますので、ご活用ください。

## 緊急連絡

研修参加のみなさまへ

### 研修申し込みの方法が変わりました！！

このたび、子どもの虹情報研修センターでは、受講される方々の利便性と事務の効率性を図るため、研修受付業務を神田交通株式会社に委託いたしました。ホテル宿泊予約、弁当・交流会等の申し込みについても、神田交通(株)に申し込んでいただくこととなりますので、研修実施要項等をお読み下さい。

研修等の申し込み方法も、参加申込書を神田交通へFAX送信するように変更になりました。なお、これに伴い、従来実施していたインターネット経由での当センターへの研修申し込みについては、画面上では可能になっておりますが、宿泊等の手配ができないため、受けつけられませんので、ご留意下さい。

ご協力の程、よろしくお願いいたします。

子どもの虹情報研修センター 研修部



## OneMoreTime, OneMoreSakuragicho(桜木町)

ここでは、宿泊施設のある横浜市中区桜木町を中心に、横浜の最新情報？をお届けします。  
このコーナーのタイトルは、山崎まさよしさんの曲名をアレンジしました。(お借りします)

### # 6 緊急報告 宿泊ホテルの変更について

子どもの虹情報研修センターでは、今まで「東横イン横浜桜木町」を宿泊ホテルとして紹介してきましたが、障害者対応の設備を他に転用するなどの違法改造問題がありましたので、宿泊ホテルを変更することとしました。(実は、昨年度の乳児院研修から変更しています。)

新しいホテルは、同じ桜木町にある「横浜桜木町ワシントンホテル」となりました。  
(おかげさまで、このコーナー名も変更しないで済みました。山崎まさよしさん、これからもよろしく)

ワシントンホテルはJR桜木町駅の近くにあり、「みなとみらい地区」へのアクセスがより便利になりました。運が良ければ、みなとみらい地区の夜景が見える部屋になるかもしれません。

ホテルの入っているビルにはコンビニエンス・ストア(フロント階)やレストラン、某アメリカ系コーヒーショップがあり、研修外の時間も快適に過ごせそうです。

料金も特別割引となっております。朝食は和洋食のバイキング形式ですので、朝からしっかり食べて、研修にご参加ください。

研修でしっかり学んで、ホテルでゆっくり休んで、少しでもパワーアップしていただければ幸いです。



ホテルの客室から見た 朝のみなとみらい



### 編集者のつぶやき...

「RainbowTimes」Vol. 7です。冬の発刊予定が、葉桜の美しい季節になってしまいました。新年度、みなさんいかがでしょうか。初めて児童相談所勤務になったり、児童福祉施設に就職されたりして、希望に胸ふくらませている方々も多いと思います。よろしくお祈りします。

センターでも、いくつかリニューアルしたものがあります。一番大きいことは、研修受付業務を「神田交通株式会社」に委託したほか、ホテル等の手配の申込みを参加者から直接同社にさせていただくことになったことです。詳しくは各研修の実施要項等をご確認ください。

また、RainbowTimesも、少しずつ、バージョンアップを図っていく予定です。この新聞は、これからも季節ごとに発行していきます。もちろん、みなさんの投稿が紙面を盛り上げます。お気軽に、ご投稿をお待ちしております。(hiro)

Rainbow Times

企画・編集室

〒245-0062 横浜市戸塚区汲沢町983番地 子どもの虹情報研修センター内

TEL 045-871-8011 FAX 045-871-8091 Email [info@crc-japan.net](mailto:info@crc-japan.net)